

請願第 5 号

2020年7月30日

「従軍慰安婦を記載した教科書の採択」に関する請願

町田市教育委員会教育長 様

(請願の要旨)

従軍慰安婦はいないということが明らかになっているのに、それを載せる教科書があります。町田市の生徒のために、この教科書を採択しないでもらいたいという請願です。

(請願の理由)

教科書は 文科省が検定しています。この検定は広く良い教科書を民間の会社が競争して子供のために作ってほしいという趣旨と思いますが、最近 は 検定審査会の中にも日本を貶めるという思想の人間が入っているといううわさもあるくらい偏っています。

私の理解では、町田市の教育委員会は 文科省の検定を合格した教科書から町田に良いと思われる教科書を 各分野 1 冊採択するという事だと思えます。
中学社会 歴史分野には 7冊の教科書があり、6冊はとらない権限があるわけです。
その権限のある町田市教育委員会に 明らかに嘘を書いている教科書を 採択しないでいただきたいと お願いする請願です。

その教科書の外の部分に良いところがあるかもしれません。しかし、何年もの間 日本を貶め、われわれの親世代をいわれなく非難した従軍慰安婦問題を載せる山川出版の意図は何なのでしょう？ 皆さんご存じのように、2014年朝日新聞は慰安婦について捏造と誤報があったとして 謝罪しました。従軍慰安婦がでっち上げなのです。

虚偽の申告で人を貶めることを讒訴(ざんそ)または誣告(ぶこく)といひます。

日本人はこの「ざんそ」や「ぶこく」を一番卑しい行動として忌み嫌い、美しい社会を目指してきたのではないかと思います。

町田市教育委員会は たとえ 文科省の検定委員が認めた教科書としても、町田市の正しくたくましく育とうという中学生をまもる責務があるのだから、正しい判断をお願いします。そういう教科書を採択しないよう 請願致します。

以上